



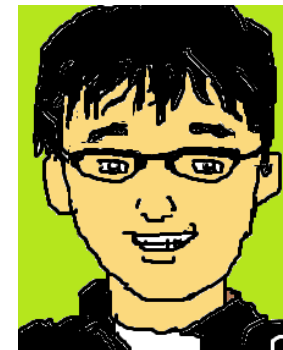
性能検証をAnsibleにお任せした話

株式会社リクルートテクノロジーズ
中原洋志

2019年3月27日

中原 洋志

株式会社リクルートテクノロジーズ
ITソリューション本部 インフラソリューション部



経歴

2011～2017 独立系SIER

- 主に医療系の企画・営業を担当

2017/2～ リクルートテクノロジーズ入社

- 社内インフラ企画を経て、1年前から商用インフラの運用を担当

最近のマイブーム

- ・ Go
- ・ ログ分析周り

・ **Ansible**



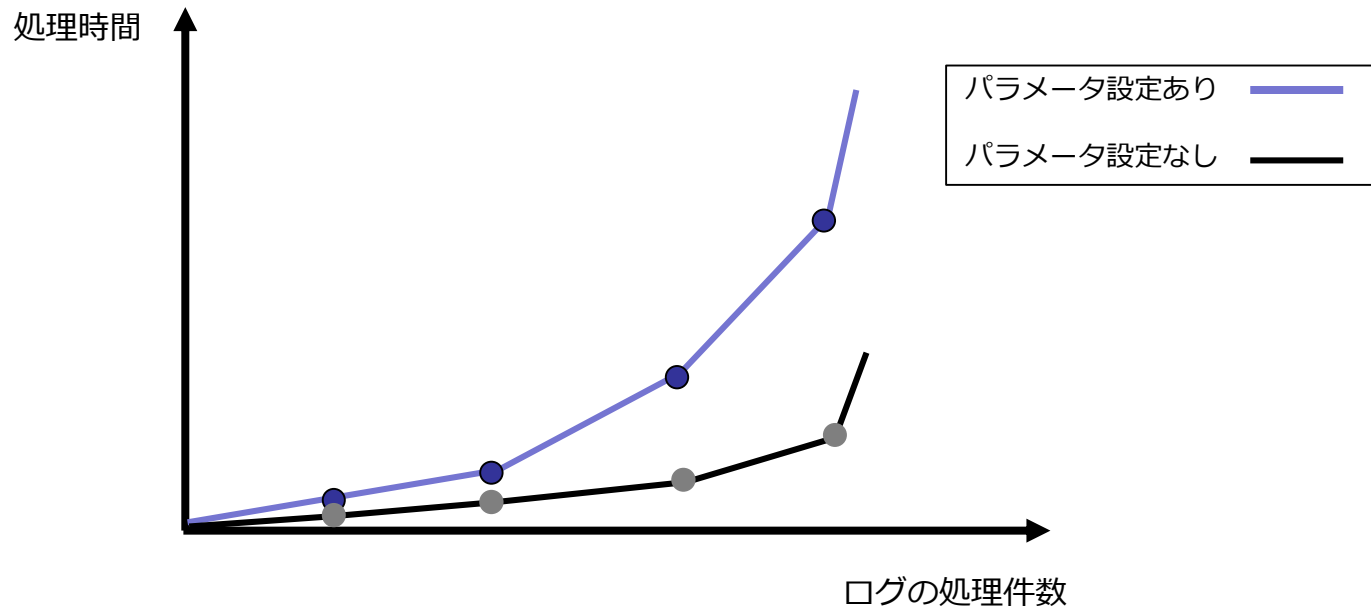
- あるログ転送ツールの性能検証をAnsibleにお任せ（自動化）した事例をお話します。
- Ansibleの活用方法、性能検証のやり方に悩んでいる人のヒントになれば嬉しいです。

実はAnsibleそれほど詳しくありません
きつい質問は勘弁してやってください

ログ転送ツールの導入を検討するにあたって
チューニングしつつ処理性能を測定しようとしていた

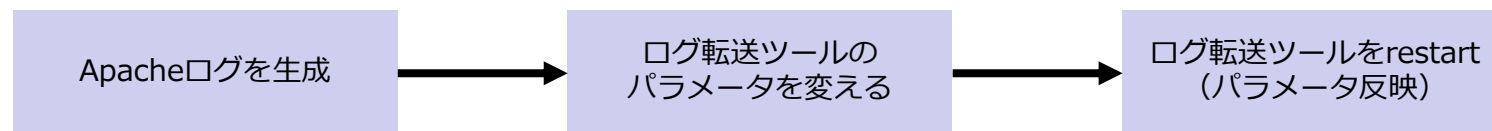
欲しかったのはよく見かけるこういうグラフ↓

ログ転送ツールの処理性能

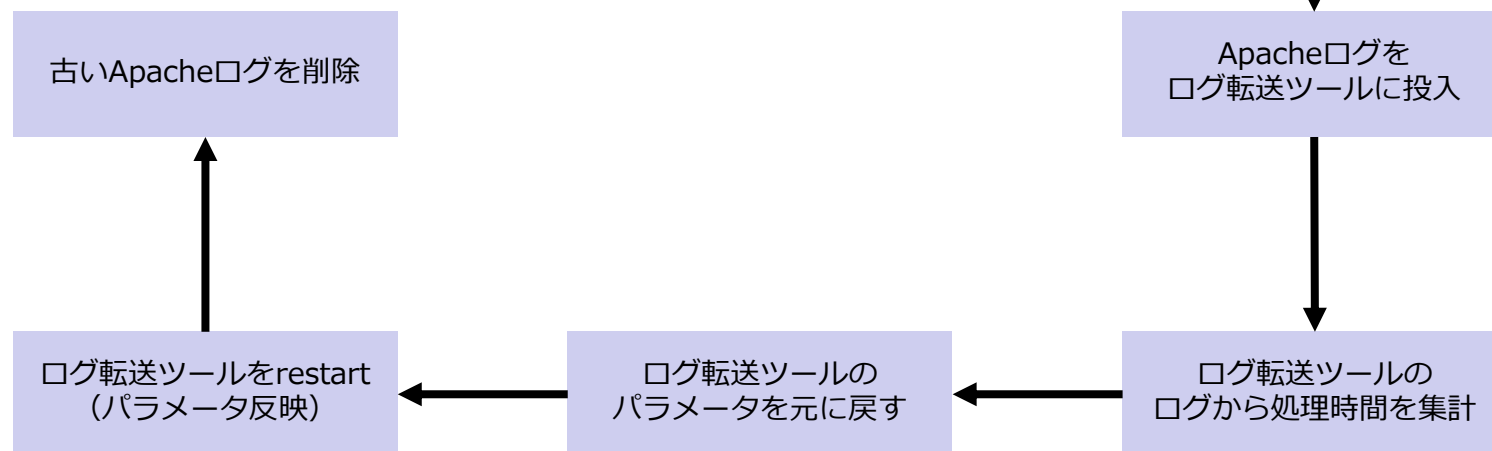


必要だったのはこんな事をぽちぽちしていくだけの簡単なお仕事

Start

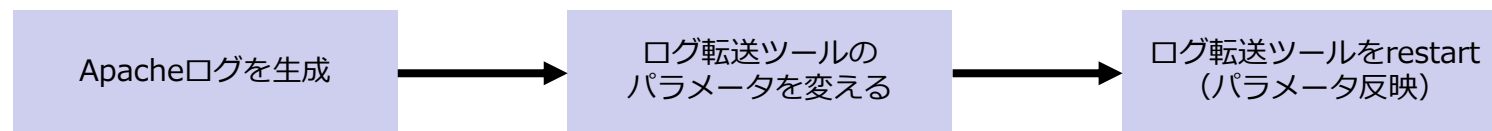


End



…これをシナリオの数だけ

Start



End



171

Combo

※Vim（パラメータ変更&戻し）だけでも**342回**開きます

これを人力でやる？

(ブノ・▽・)`)ムリムリ

夜を徹しての長時間作業

よみがえる作業ミスのトラウマ

なによりつまらない

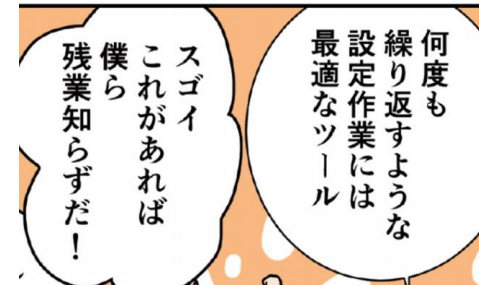
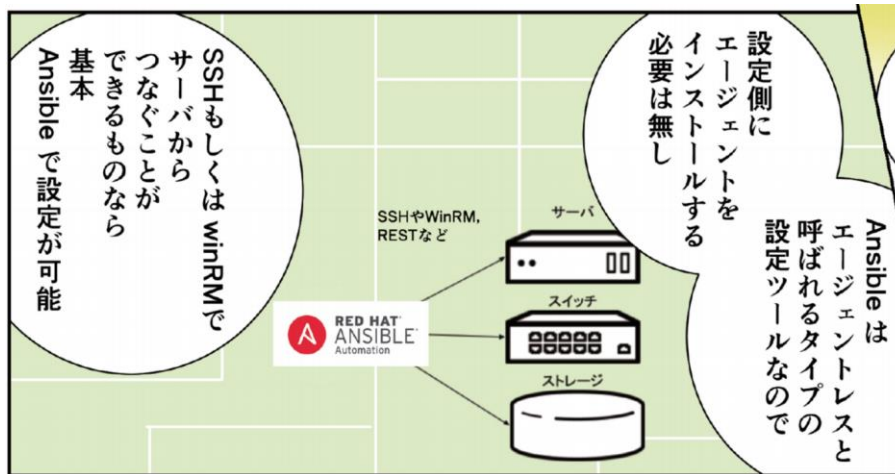
でもスクリプトとか書けないしな—
手が空いている人もいないしな—

と悩んでた時に出会ったのがこれ↓



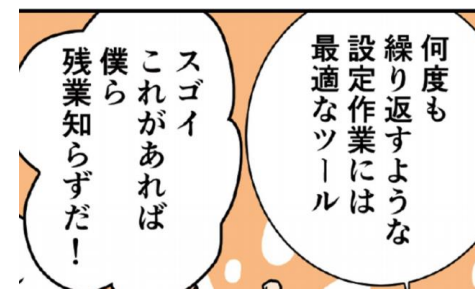
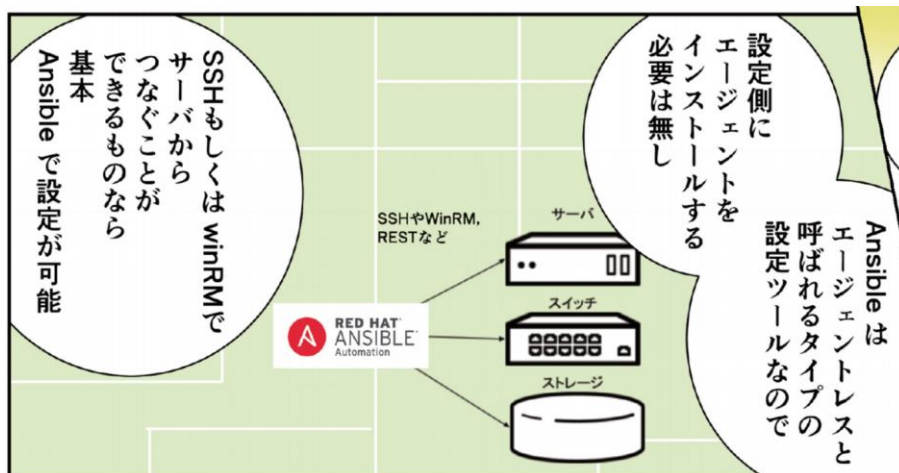
マンガでわかるRed Hat Ansible Automation
http://redhat.lookbookhq.com/jp_ansible_comic

ほうほう



マンガでわかるRed Hat Ansible Automation
http://redhat.lookbookhq.com/jp_ansible_comic

つまりこういう事か！



性能に影響を及ぼすエージェントを入れずに 単調な作業を繰り返せる 性能検証にも使える ツール

マンガでわかるRed Hat Ansible Automation
http://redhat.lookbookhq.com/jp_ansible_comic

1.公式ハンズオンを一人モクモクしてみる

(この**Ansibleもくもく会でもお馴染み**の内容)

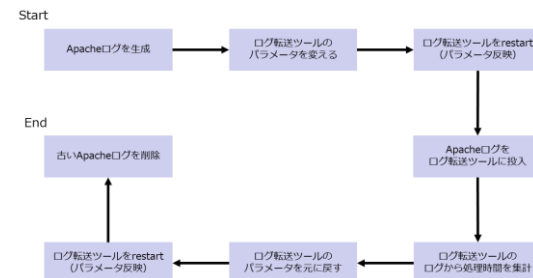


2.Ansible Documentを見ながらplaybookを作る

(**Exampleが豊富で分かりやすい**)



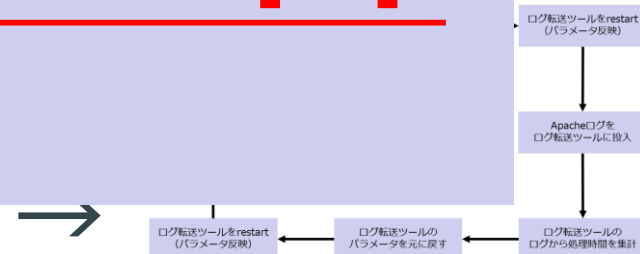
基本的な処理が完成



はじめて触ってから
ここまでだいたい

2日で完了

学習コストが低い・・！！



その後色々な人々の助けを借りて こうなりました

/tasks/main.yml

```
- name: Run role per var
  include: metric-poc-role.yml
  with_items:
    - { log_amount: "1000", var_before: "xxx_size : 512", var_after: "xxx_size: 1024" }
    - { log_amount: "1000", var_before: "xxx_size : 512", var_after: "xxx_size: 2048" }
    . . .
    - { log_amount: "10000", var_before: "xxx_size : 512", var_after: "xxx_size: 1024" }

loop_control:
  loop_var: rolevar
```

パラメータを設定した分だけ
ログ生成～実行～結果集計を
自動的にやってくれる

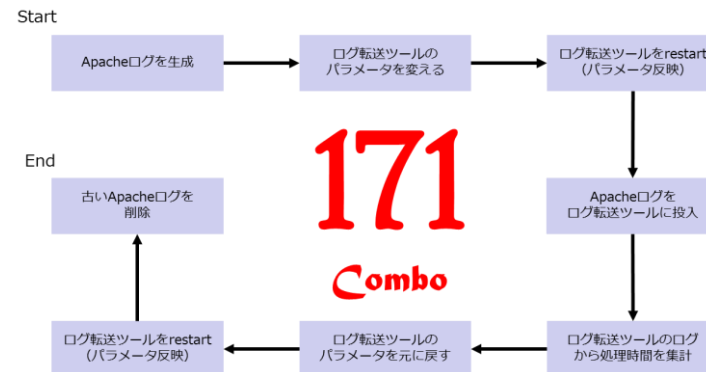
こんな感じで結果をログファイルに出力してくれる↓

```
Number of Published Event: 10000
vars_before: xxx_size: 512
vars_after: xxx_size: 1024
Start Time: 2019-03-13T11:50:18.988
End Time: 2019-03-13T11:50:35.759
. . .
```

Before

シナリオの数だけ人力で実行

作業時間
57時間~



After

退社前にコマンド一発

作業時間
5秒



```
ansible-playbook -i ./hosts metrics-poc.yml
```

Ansibleを性能検証に使うメリットはたくさんある

(これもまだほんの一部)

1. とにかくお手軽

yumコマンド一発で導入できて、エージェントも要らない。
学習コストも低い。

2. 再利用できて、汎用性が高い

シナリオを変えたり、他の性能検証に使ってみたり。
もちろん性能検証以外にも！

3. ドキュメントが充実

公式ドキュメントはもちろん、先人の取組み（ネット記事）が充実。

迷ったらとりあえず導入してみよう

ご清聴ありがとうございました！